

I 行政評価について

1 行政評価とは何か

行政評価は、効率的で効果的な市政の実現を目指すとともに、市政の透明性を高め、その内容を市民によりわかりやすく説明するための手段です。

市が行うさまざまな事業を対象に、事業の目的や成果・効果をできるだけ数値化してわかりやすくするとともに、行政として果たすべき役割を踏まえ、事業の必要性や上位の施策及び政策に対する位置付け、あるいは事業環境の変化や事業の特性などについて、総合的な視点から整理・点検し、その結果を総合計画の進行管理、行政改革、予算編成などに活用することによって、効率的で質の高い市政運営を実現することを目指しています。

2 行政評価は何のために行うのか

市の仕事をマネジメント（企画、実施、評価）することによって、

ア まちづくりの現状と課題を市民にわかりやすく伝えます。

～施策達成度の公表～

施策評価を実施し、その結果を市民に公表することにより、本市のまちづくりの現状と課題を市民にわかりやすく伝えます。

イ まちづくり課題に優先順位を付けて、限られた資源を有効かつ効率的に使います。

～経営資源の有効活用～

財政状況が厳しい中、限りある資源（税金等の収入、人材、もの）をまちづくり課題の優先順位に沿って有効かつ効率的に使うことにより、より一層の効果を発揮できるようにします。

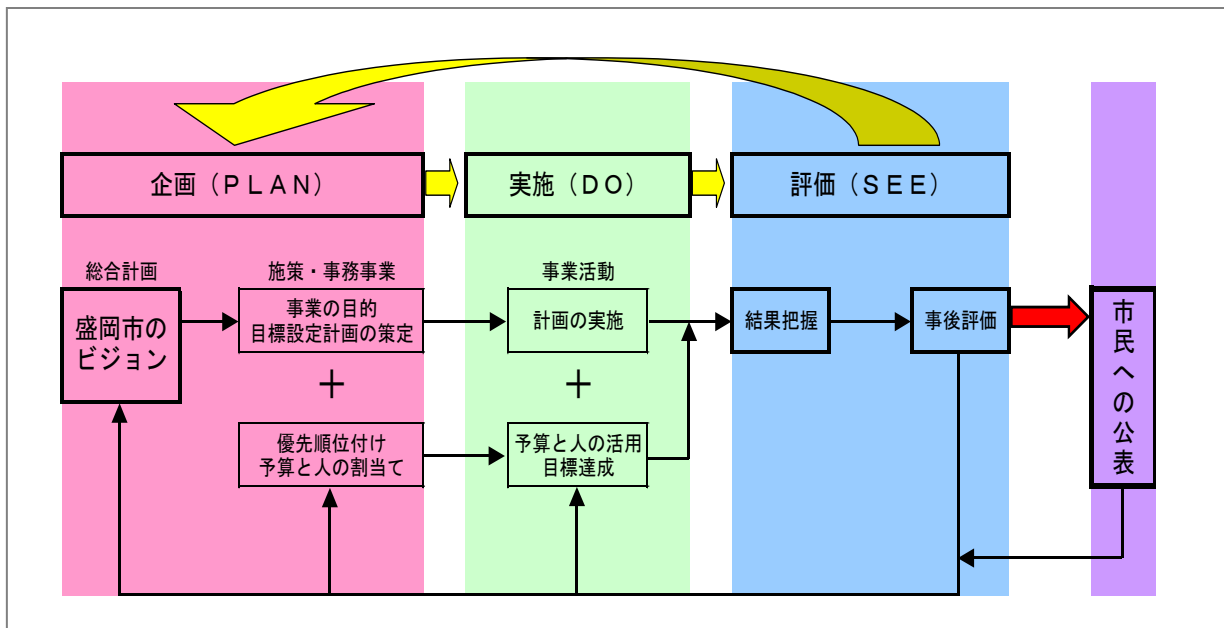
ウ 市の仕事をより価値のあるものへ改革改善し続けます。

～継続的な改革改善と人材開発の実践～

毎年市が行っている仕事を継続的に評価することにより改革改善を行うとともに、振り返りと改革改善を常に繰り返すことによって職員の政策形成能力を高め、より高い市政の運営ができるようにします。

3 どのような仕組みか

企画（PLAN）→実施（DO）→評価（SEE）の循環（マネジメントサイクル）を確立し、市が行う行政活動についてたえず振り返りを行うことにより、次年度以降の企画の立案や予算編成に反映させていく仕組みです。



4 評価結果を何に反映させるのか

行政評価の評価結果は、総合計画の進行管理、予算の編成などに反映させていくこととしています。

総合計画については、総合計画の各施策に設定されている目標値と毎年度の評価結果を比較しながら、目標値の達成に向けた進行管理をしています。

なお、平成27年度から新しい総合計画*¹における施策単位で市政運営を行っておりますが、今回の評価は平成26年度の振り返り評価（事後評価）であることから、旧総合計画*²における施策単位で評価を行いました。

予算編成については、評価結果に基づき事務事業の優先度を評価し、翌年度の予算配分の検討に活用します。

*¹ 新しい総合計画…「盛岡市総合計画（2015-2025）」

*² 旧総合計画…「盛岡市総合計画 ～共に創る元気なまち県都盛岡」

○「**施策の柱**」

旧総合計画の基本構想に掲げているまちづくりの基本目標を実現するため、市が行う施策を大きく分類したものの。

○「**施策**」

施策の柱の実現に向けて取り組む課題を明確にするために、それぞれの施策の柱の下に位置付けたもの。施策毎に目標値を設定するなどして達成度の評価を行います。

○「**基本事業**」

施策の目的達成に向けて取り組む課題を明確にするために、それぞれの施策の下に“小施策”として位置付けたもの。施策と同様に達成度の評価を行います。

○「**事務事業**」

基本事業の目的達成に向けて取り組むために、それぞれの基本事業の下に位置付けた具体的な市の仕事・活動のこと。毎年度事務事業評価を行い、改革改善を行いながら実施していきます。

